



### 山梨 浩利先生のこころとからだを癒すアート 「月」

本誌を横にしてご覧いただくと、3D(立体的)にみえてきます。この時、脳波は自然界(地球)と同調しています。眺めることで心身の健幸に、飾って場の浄化などにもお役立てください。

# 山梨浩利先生の HADO講座

第36回

## HADO(波動)的観点からみた 食材 その13 はちみつ

### 妙薬は口に甘し

**HADO(波動)の概念**  
HADO(波動)数値とは、生体・細胞が感じる度合いのこと。

プラスの数値は生体・細胞が共鳴・同調していることであり、この数値が高いほど、生体・細胞が「喜び・感謝している」状態を示しています。

逆に、マイナスの数値は生体・細胞が非共鳴・拒絶していることであり、この数値が低いほど、生体・細胞が「嫌がる・拒否している」ことを示しています。

すなわちHADO(波動)数値とは、自然の一部である人間と、自然界の摂理との調和度合いの目安となるものです。

ハチミツ	
免疫	+ 8
疲労	+ 9
気管支	+ 7
腸	+ 8
過酸化脂質	+ 6
がん	+ 6
皮膚	+ 8
肥満	+ 4
血糖	+ 1

初夏になってたくさんの花が咲いています。そして、その花に集まっているのは蝶々やミツバチといった昆虫たち。花粉を媒介して、結実の手助けもしている存在です。

そんなミツバチがつくっている「はちみつ」は、古くから人類にとってかけがえのない貴重な食材として用いられてきました。

蜜源となる花によっても、その味はさまざまですが、ミツバチが体内でつくりだす酵素によって果糖とブドウ糖が分解されているため、からだに吸収されやすく、疲れたときの栄養補給にもってこいの食材でもあります。

今回のレンゲのはちみつを用いたHADO(波動)測定でも「疲労」の数値が高く出ました。

疲れがとれると免疫も上がるため、どちらの数値も優秀で、まさに「妙薬は口に甘し」。

咳や喉の痛みによいと云われてきたことも「気管支」の数値からわかるかと思えます。

### 美肌にもオススメ

グルコン酸やオリゴ糖が腸内にいるビフィズス菌の活動を促してくれることも「腸」の数値に出ています。

腸の状態は肌にも反映されるので「皮膚」の項目も高いでしょう。

また、はちみつを直接肌に塗ることも、クレオパトラの時代から続いている美容法です。

HADO(波動)数値は0を基準として+20から-20までの数値で測定します。

+15以上  
癒し効果の高い極めて優秀な食材

+10以上  
健康に役立つ優秀な食材  
(肉・卵は+7以上で該当)

+ 6以上  
一般的な食材  
(肉・卵は+4以上で該当)

0以上  
少し低めのレベルの食材

- の数値  
健康に負荷がかかる可能性のある食材



エヌピユア 研究開発顧問  
山梨浩利

1962年静岡県焼津市に生まれる。1985年中央大学理工学部工業化学科卒業。大手食品会社で主に食品の研究開発に従事。数々の商品を世に送り出す。サトルエネルギー学会、機器検討委員会などにも参画。その活躍は、広く海外にまで広がっている。

現在、山梨事務所を設立し、微生物・発酵・鉱物をテーマにした本物商品の研究や企画開発などを行っている。(株)エヌピユア 研究開発顧問。著書に『見るだけ聴くだけ 超快眠! CDブック』『同超開運! CDブック』がある。

いる美容法です。

ふだん使用している化粧水やシャンプーなどに数滴のはちみつを混ぜるというのもよいでしょう。

気をつけたいのは「肥満」や「血糖」の数値が低いので、食べ過ぎには注意すること。

なにごとも、過ぎたるは及ばざるがごとしですね。